

地域の力で、災害に強いまちへ

防災士

区民のために活躍する
防災士の活動を紹介



防災士とは？

防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人で、性別、年齢関係なく取得が可能です。

全国で347,564人(2026年1月末時点)いて、文京区の補助を受けて資格取得をした方は **105名** います(2026年2月末時点)。



● 地域で活躍する防災士紹介

- 林町小学校避難所運営協議会・黒川靖氏
- 第一中学校避難所運営協議会・篠木一拓氏

● 区からのお知らせ (防災士事業について・令和7年度避難所等訓練一覧)

地域で活躍している防災士の方へお話をうかがいました!



黒川 靖 氏

- 令和3年度防災士資格取得
- 林町小学校避難所運営協議会(林町町会)

～お仕事～

新しい病院やクリニック、調剤薬局の開設。既存の病院の増床やクリニック・調剤薬局の移転、改築、経営改善。



篠木 一拓 氏

- 令和3年度防災士資格取得
- 第一中学校避難所運営協議会(久堅自治会)

～お仕事～

- ・ 社会福祉士、介護福祉士
- ・ 文京社会福祉士会 事務局長



Q1 防災士の取得のきっかけを教えてください

林町町会には M さんという役員がいました。東大の医師でもあり、災害時の活動に高い関心を持っていました。その方は防災士の取得を希望し防災士としての活動を楽しみにしていました。その方が急な病気で他界されました。私はその M さんの遺志を継ぎ防災士となりました。

Q2 協議会の活動で今後実施したいと 思っていることを教えてください。

全国で在宅避難がテーマになっています。当協議会は三つの町会を中心に PTA・民生委員・児童委員・小学校などと力を合わせて取り組んでいます。しかし地域住民との接点は、この構成員でも十分ではありません。発災時に一人でも多くの人の命を守るためには、平時から協議会が多くの他団体と連携し、より多くの地域住民との接点を構築することが急務です。このことに取り組んでいきたいと考えています。

Q3 協議会の活動として、防災士に 求めることを教えてください。

防災士と言っても国家資格でもありませんし、何かのスペシャリストでもありません。そんな防災士ですが、共通点は、災害への備えや人命を守るなどに関心が高いということなのではないでしょうか。そういう防災士が、①それぞれの関心がある分野での防災を考える。②分野やこだわりを超えて連携をする。③そこで得た情報や知識を地域に還元する。これが地域における防災士のあるべき姿だと思います。

Q4 避難所運営協議会訓練の実施状況や 実施までについて教えてください。

2023年1月21日(土) 避難所運営訓練

年度当初より避難所運営のための4つの班に分かれて話し合いを続けていました。この運営訓練では、訓練に参加した住民の方、被災者・避難者ではなく、この4つの班に配属され、その班の一人として取り組みを体験しました。うまくいかないことも多かったのですが、発災時の避難所では、それ以上に混乱しますし、そんな人達での運営に任せられます。そういう経験をして欲しいと企画した訓練でした。

2024年7月13日(土) シンポジウム テーマ：災害時の各関連団体の対応 について

避難所を支える団体の代表に登壇いただき、どのような考えなのか、どのように備えているのか、どのように活躍するののかの話を、地域の方に聞いていただく機会となりました。

【登壇者】

- ・ 林町小学校における防災教育の取組(校長先生)
- ・ 自衛隊の取り組み(自衛隊東京地方協力本部)
- ・ 消防による取り組み(小石川消防署大塚出張所)
- ・ 文京区役所が想定する災害時におこること(文京区防災課)
- ・ 避難所から災害時地域住民サポートセンターへ(協議会会長)

校庭では消防団と防災課による煙体験ハウスや消火器訓練などを並行実施しました。

Q1 防災士の取得のきっかけを教えてください

大災害時に自分に何かあった場合、家族がどうなるのかという不安がありました。マンション防災や地域の避難所について情報を集める中で、「誰かに任せる」のではなく、自分自身が地域の防災に関わることが大切だと感じました。大きな災害があっても機能する避難所を準備するために、防災士の資格を取得しました。

Q2 協議会の活動で今後実施したいと 思っていることを教えてください。

他の避難所運営協議会や関係機関との連携が図れたらと思っています。災害時には、一つの避難所だけで対応するのではなく、地域全体で支え合う体制づくりが重要だと感じています。そのため、協議会同士で情報交換を行ったり、相互に避難所運営訓練へ参加したりすることで、実践的な知見を共有できればと思います。こうした取り組みに関心のある協議会や地域の皆さまとつながり、協力関係を築いていければと考えています。

Q3 協議会の活動として、防災士に 求めることを教えてください。

事前に災害時の対応や考え方について、協議会メンバー間で認識のすり合わせを行うことが、円滑な避難所運営につながると考えています。そのため防災士には、会議や訓練の場で具体的な対応を積極的に取り上げ、「このような場合はどう対応するか」といった実践的な想定を協議会メンバーと共有するよう働きかける役割が求められると思います。災害が起こる前から環境を整え、備えを積み重ねていくこと、こうしたあらゆる「事前準備」を進めていくことが、防災士に期待されている役割だと考えています。

Q4 避難所運営協議会訓練の実施状況や 実施までについて教えてください。

[例年の流れ] 6月頃 避難所運営協議会会議 10～11月頃 避難所運営訓練

【事前準備】

事前に協議会事務局と打合せを行い、会議次第と複数の訓練企画案を作成したうえで、参加者へ案内し日程調整を行います。

【会議】

これまでの訓練を振り返りながら、当該年度の訓練日程、訓練内容、必要物品等を会議次第に沿って決定します。

【会議～訓練】

決定事項をもとに、防災士が訓練の具体的な計画を作成し、フローチャートなどの資料を準備します。資料は協議会事務局で確認・修正を行い、協議会メンバーへ共有します。訓練前には、会長・学校・協議会事務局で最終打合せを行い、資料や当日の動きを確認したうえで訓練を実施します。

【補助金申請】

準備と並行して、区に提出する助成金の申請書や事業計画書を作成し、必要物品の購入を進めます。

訓練の実施にあたっては、防災士が主導して計画や役割分担、当日の動きを事前に整理しておくことが重要です。加えて、関係者との綿密な連絡調整や十分な事前準備が求められます。また、訓練には多くの人員が必要となるため、円滑な実施に向けた人手の確保も大きな課題となっています。

2人の防災士から読者の方へメッセージ



黒川 氏

読者の皆さんは防災士が多いと思います。ぜひ、連携をしていきましょう。自分を守り、家族を守り、隣近所に目を向け、地域を安全で被災者を出さない町にしましょう。理想ではありますが、この理想を目標として初めて見えてくるものがあると考えます。皆さんの智慧と経験を共有させてください。

また、林町小学校避難所運営協議会では、様々な経験、スキル、考えをもった方を求めています。是非、協議会に参加していただき、色々話しをしましょう。



篠木 氏

防災は特別な知識がある人だけのものではなく、自分や身近な人を守りたいという気持ちから始められるものだと思います。まずは身近な場所や避難所について知ること、一人ひとりの小さな行動や参加が、いざという時の安心につながります。地域で声を掛け合いながら、それぞれができる形で防災に関わっていただければと思います。自分や大切な人を守るために、私たちと一緒に地域の防災に取り組んでくださる方をお待ちしています。第一中学校での避難所運営訓練も毎年実施していますので、ぜひご参加ください。

区からのお知らせ

防災士資格を取りたい方

防災士認証登録支援助成金

区は、避難所運営協議会又は中高層共同住宅の管理組合から推薦された方に、防災士の資格取得費用を助成しています。

要件等はHPをご確認ください。



防災士としてスキルアップしたい方

防災士スキルアップ助成金

「文京区防災士認証登録支援助成金」により防災士になった方に対し、防災士研修センター「防災士専門講座」の受講料を助成しています。

防災士としてレベルアップしたい方は、まずHPをご確認ください。



令和7年度避難所等訓練一覧

区主催で実施した年間4回の総合防災訓練のほか、避難所運営協議会等が主体となって実施した訓練をまとめました。これらの訓練は、多くの防災士の皆様のご協力のもと実施できております。日頃のご支援ありがとうございます。引き続き、地域の防災力向上にご協力いただけますと幸いです。

実施月	避難所
R7年 6月	第八中学校、元町ウェルネスパーク、根津小学校
10月	第一中学校
11月	金富小学校、文林中学校、教育センター・湯島小学校、駒本小学校、林町小学校
12月	大塚小学校、第十中学校
R8年 2月	本郷台中学校、本郷小学校
3月	窪町小学校

※赤字：区主催で実施した避難所総合訓練

お問合せ先

文京区総務部防災危機管理課

地域防災担当

電話：03-5803-1746